

朝日の社会福祉

共に生きる豊かな福祉社会のために

2014

朝日新聞厚生文化事業団は

「子ども」「障害のある人」「高齢者」を3本の柱として
以下のような社会福祉事業に取り組んでいます。



●子どもの事業

「全ての子どもに希望の明日を」

里親家庭や児童養護施設に暮らす子ども。虐待を受け、逃げ場がなくなっている子ども。震災などで大事な人を亡くし、傷ついた心を抱える子ども。そんな子どもたちに、大学進学のための応援金を贈ったり、心を癒やせる場を提供するグリーフ(悲嘆)サポートの実践や講習会、現代の駆け込み寺となる「子どもシェルター」の推進に向けての講演会などを開いています。

●障害のある人の事業

「共に生きる社会の実現へ」

障害のある人たちが、「あたりまえ」に暮らせる社会を目指す各種の事業を行っています。周囲からの理解が得られにくい自閉症の人たちを支えるカンファレンスや高次脳機能障害、うつ病の理解のための講演会を各地で開催しています。手話普及のための高校生の手話によるスピーチコンテストや視覚障害の大学生への大学奨学金の貸与事業なども行っています。

●高齢者の事業

「安心して老いるために」

いつかは必ず訪れる最期の時。住み慣れた家で家族に囲まれ迎えることはできるのか、独りで暮らす人の場合は、どのような準備が必要なのか。このような最期の迎え方を学んだり、認知症のご本人を尊重し、地域での生活を支えるための講演会、認知症カフェのフォーラムなどを開催しています。全国各地の高齢者施設へ一流のバイオリニストやお相撲さんが訪問する事業も行っています。



震災・災害救援事業

朝日新聞厚生文化事業団は、関東大震災の被災者救援をきっかけとして設立された団体です。災害復興支援は、いまでも事業の柱のひとつとなっています。

広島土砂災害への支援

74人が亡くなった8月の広島土砂災害。全国から救援金を募り、約3千万円を日本赤十字社広島県支部に渡しました。



東日本大震災

被災地の岩手県陸前高田市に建てた「朝日のあたる家」は、2015年2月に開設2周年を迎えます。地域の活動拠点として地元にもすっかりなじんでいます。



こども応援金

震災で両親を亡くした子どもに、使い道を問わない応援金(150万円~300万円)を直接、渡しています。総額4億8850万円を贈りました。

被災地ビジット

東日本大震災の被災地の方々に、コンサートや歌やマジックなど、安らぎのひと時を届ける事業です。訪れた保育所や学校、高齢者施設などが笑いと歓声に包まれます。



子どもの事業

高校生進学応援金

2014年度は児童養護施設や里親家庭から大学進学を目指す高校生26人に応援金約1276万円を贈ります。

朝日夏季保育大学

61回目の開催です。保育士など約400人が参加しました。打楽器奏者山口ともさんの「ガラクタ音楽会」のビデオ上映や手作り楽器の演奏も行われました。



ピア・キャンプ

各地の児童養護施設や里親家庭で暮らす高校生たちが、富士山麓で1泊2日のキャンプをしました。



親子で楽しむクリスマスコンサート

12月23日に有楽町朝日ホールで開催。家族連れなど約600人がクリスマスのひと時を楽しみます。



多彩なチャリティー事業

朝日チャリティー美術展

文化勲章受章者や人間国宝を含む多くのアーティストから寄贈された作品を名古屋、大阪、東京で販売し、社会福祉事業に充てます。



メサイア演奏会

藝大フィルハーモニアと東京藝術大学の学生たちが12月に「メサイア」全曲を披露します。





障害のある人の事業

全国高校生の手話によるスピーチコンテスト

励まし合う言葉の重要さを手話と音声で訴えた、高知県立安芸高3年の坂本龍成さんが1位に選ばれました。



自閉症カンファレンスNIPPON

約1000人が参加する国内最大の自閉症支援のための会議を東京・早稲田大学で開催しました。



聖明・朝日盲大学生奨学金

視覚障害のある大学生4人に、月3万円の奨学金を渡す貸与式が都内のホテルで行われました。



うつ病の講演会

うつ病の予防と早期発見を地域でどう支えるかを考える講演会を東京、大阪、盛岡で開催しました。

九州車いすツインバスケットボール選手権大会

障害に応じて2種類のゴールを使う車いすツインバスケットボールの九州大会を共催しました。



高次脳機能障害講演会

交通事故などで脳を損傷した高次脳機能障害の人たちへの寄り添い方を考える講演会です。3月には千葉で開催予定です。

高齢者の事業

連続講座「自分らしい人生の最終章とは？」

「在宅」という選択を含め、最期を迎える場所やその準備などを考える連続講演会を東京、大阪で開きました。



「ゆうゆうビジット」

全国の高齢者施設を訪問し、コンサートやお相撲さんによるちゃんこ鍋など、憩いのひとときを届けました。



遺贈・遺言セミナー

高齢者の財産を守る成年後見制度や遺贈について学ぶセミナーを東京、大阪、名古屋、福岡で開催しました。

講演会「大介護時代の今」

2015年の介護保険制度改正を前に、介護者の実態や課題、支援のあり方を学ぶ講演会を大阪で開催しました。

ガイドブックやDVDの作成・販売

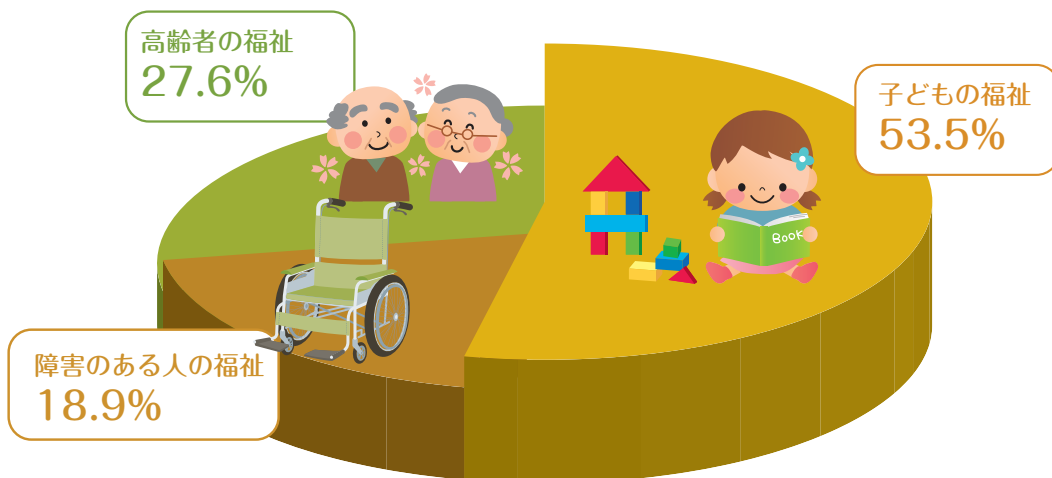
自閉症の人を支援するDVDをはじめ、高次脳機能障害や認知症、うつなどのガイドブックを作成し販売しています。ご購入は事業団HPからできます。





皆様からのご寄付は以下のような事業に使われます。

(2014 年度社会福祉事業予算、東日本大震災救援事業を含みます)



この他 公益事業としてガイドブックや DVD の発行
福祉啓発事業なども行っています。

事業総額 1 億 7283 万 5 千円

朝日新聞厚生文化事業団の社会福祉事業は皆様からのご寄付で実施されています。寄付者名・団体名は朝日新聞の地域面に掲載します（千円以上。匿名扱いもできます）。税法上の優遇措置があります。相続税が非課税となる遺贈・遺言のご相談も含め当事業団へお問い合わせください。

ご寄付やお問い合わせ

- 郵便振替 「寄付専用」郵便振替用紙をお使い下さい。お手元にない場合は、当事業団が払込料金を負担する振替用紙をご請求ください。または、口座番号「00130・1・9166」（加入者名＝朝日新聞厚生文化事業団、通信欄に「寄付」、領収書不要の場合もそのように明記）までご送金下さい。
 - 銀行振り込みやクレジットカードによるご寄付もできるようになりました。事業団ホームページからご寄付の手続きができます。
 - 現金受付 朝日新聞本社内の厚生文化事業団窓口（平日午前10時～午後5時30分）や朝日新聞の各総局など
- ※寄付金控除 当事業団へのご寄付は個人の場合、所得控除と税額控除の二つの寄付金控除方式のいずれか有利な方をお選びいただけます。この優遇を受ける場合、確定申告をしていただく必要があります。

■本部(東京)

〒104-8011 東京都中央区築地5-3-2
TEL 03(5540)7446 FAX 03(5565)1643

■大阪事務所

〒530-8211 大阪市北区中之島2-3-18
TEL 06(6201)8008 FAX 06(6231)3004

■西部事務所

〒803-8586 北九州市小倉北区室町1-1-1
TEL 093(563)1284 FAX 093(563)1287

■名古屋事務所

〒460-8488 名古屋市中区栄1-3-3
TEL 052(221)0307 FAX 052(221)5453

朝日新聞厚生文化事業団ホームページ

<http://www.asahi-welfare.or.jp/>
E-mail mail@asahi-welfare.or.jp